

NPO等の設立による持続性のある組織づくり

1. 団地・住宅地の概要

ドリームハイツ（神奈川県横浜市）

【種別】：分譲/集合住宅団地

【住戸数】：約 2,300 戸 【入居開始年度】：1971 年～

【交通】：JR東海道線「戸塚駅」バス20分 など

2. 取組の概要

- ・住民が主体となり、NPO等の活動団体を立ち上げ、子供や高齢者、障害者向けの多様なサービスを提供するとともに、各活動団体をつなぐ地域運営協議会組織を運営している。

3. 取組の背景

- ・入居開始当初、子育て世帯が多く、保育施設等の子育てのための公的施設が不足していたことから、住民が主体となり自主保育の取組を開始した。
- ・少子高齢化の進行を背景に、介護予防や見守りなど多様な高齢者向けサービスも提供されている。

4. 特徴

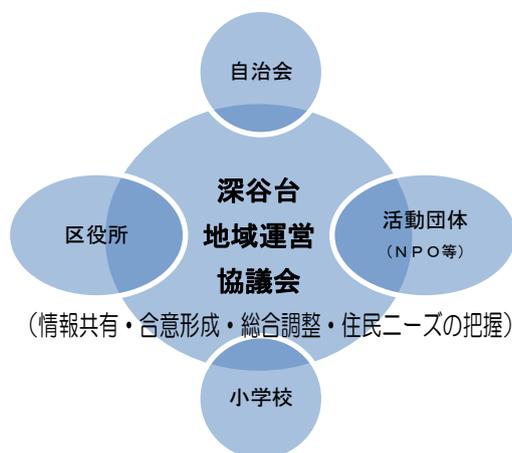
- ・子育て支援に係る施設の立ち上げを皮切りに、入居開始当初から長年にわたり、団地住民により、住民ニーズに対応したサービスの提供や地域活動が行われている。
- ・深谷台地域運営協議会を通じて、自治会や地域の活動団体等が情報共有・緩やかに連携しながら各種取組を展開している。

5. 組織体制

■深谷台地域運営協議会（※平成30年2月現在）

役割	協議会メンバー間の情報共有、合意形成、住民ニーズの把握（住民の意識調査）、総合調整 ⇒深谷台地域運営協議会と協議会に属する自治会や地域の活動団体（メンバーは主に住民）等が緩やかに連携・役割分担し、各種取組を展開
構成団体	14団体 ⇒自治会、小学校、小学校PTA、地域の活動団体（NPO等）、区役所 ※区役所はオブザーバーとして参加
事務局	5名 ⇒会議の議題・内容の検討や関係者調整等を行う。
開催頻度	月1回

【協議会イメージ図】



6. 取組内容

○長期ビジョンの策定（2000年）

- ・住民アンケートで団地の長期ビジョンの策定を求める意見が多かったことを受けて、長期ビジョン策定のための特別委員会を発足
- ・特別委員会には、①生活環境、②自治会規約見直し、③防災 の3部会を設置

- メンバーは公募し、毎回十数名が参加
- 定例会や行政を交えた学習会を開催、アンケートやヒアリング調査、住民との意見交換会を実施（※定例会の開催頻度：月1回程度）
- 学識者等の専門家の助言を受けながら検討を実施
- 特別委員会発足から約4年で長期ビジョンを策定
- 長期ビジョンの4つの柱
 - ① 緑豊かなまち（例：先を見越した植栽計画）
 - ② 安心安全なまち（例：日頃の実際に即した防災訓練）
 - ③ 人にやさしく生き生き暮らせるまち（例：子どもがのびのび遊べる場）
 - ④ 豊かに過ごすための施設を考える（例：多世代が使える公園・プレイロット）

○アンケートの実施（2007年）

- ドリームハイツ地域運営協議会を設立し、市のモデル事業を活用して実施
- アンケート回収率：95.5%
- アンケート結果を踏まえた新たな取組を実施
（取組例）
 - 学校内に地域交流室（地域人材の活動交流拠点）の設置
 - アフタースクール（放課後自習教室）の開設
 - ボランティアバンクえん（生活支援サービス）の開設
 ⇒ 地域全体での見守り、防災、福祉等の取組が進む。
- 2007年以降も定期的にアンケートを実施し、住民ニーズの把握と対応に努めている。

7. 取組の経緯

【ステップ1】住民による自主保育等の取組

○課題

- ・団地への入居が開始された当初、幼稚園など子育てのための公的施設が不足

○対応

- ・子育て世代の住民で、幼稚園、保育園、学童保育施設を立ち上げ

【幼稚園】：すぎの子会

概要：2～5歳児を保育する手作り幼稚園（幼稚園類似施設として市が認可）

保育時間：平日9時～14時まで預かり（水曜日は11時30分まで）

（※16時まで延長可）

スタッフ：保護者、保育者

【保育園】：苗場保育園

概要：通所保育、一時保育、相談活動、園庭開放

保育時間（通所保育）：平日7時～20時、土曜日7時～18時

スタッフ：現在は社会福祉法人が運営（設立当初は個人と地域住民が運営）

【学童保育施設】：学童保育クラブ

概要：就労等で昼間に保護者がいない家庭の子供が放課後を過ごす場を提供するとともに、健全育成を担う事業を実施

【すぎの子会：2歳児の教室】



（出典）：すぎの子会HP

【苗場保育園：園庭】



（出典）：社会福祉法人いずみ苗場の会HP

【ステップ2】住民ニーズを踏まえた各種取組の展開

○住民ニーズを踏まえ、地域に必要なサービスを次々と提供

【サービス事例】NPO法人 いこいの家 夢みん

サービスの概要：多世代交流サロン、生活支援事業

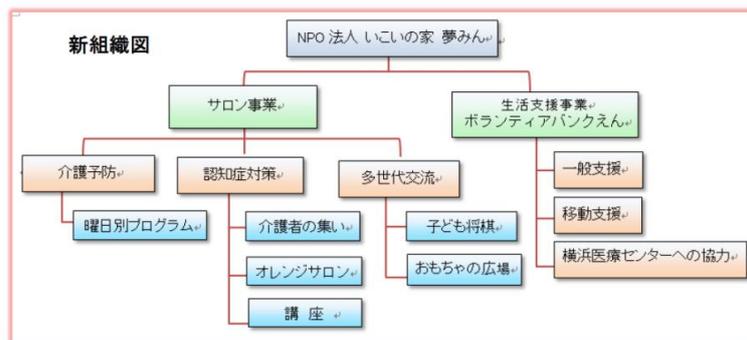
①多世代交流サロン：介護予防プログラム、介護相談会、コミュニティカフェ、パソコン教室、住民の自主活動や集いの場の提供 等

※ 開館日：（平日、土曜日）10時～16時、（第1日曜日）11時～15時

※ 対象：子どもから高齢者まで

②生活支援事業：日常生活支援（買い物支援、病院への付添いなど）、移動支援、見守り・駆け付けサービス 等

【NPO法人 いこいの家 夢みん 組織図】



（出典）：深谷台地域運営協議会エリマネニュース第50号

【ステップ3】自治会、地域の活動団体の連携

○団体連携の下地づくり

- ・子育て支援に係る活動団体が、地域の諸課題の解決のため、緩やかなネットワークを形成
- ・福祉関係の活動団体が連携し、ふらっとステーション（コミュニティカフェ、住民同士の交流の場）の立ち上げや福祉連絡会を設置
- ・福祉連絡会では、関係5団体が共同で講座やアンケートを実施

【ステップ4】地域運営協議会の設立

○ドリームハイツ地域運営協議会の設立（2007年）

- 市のモデル事業を契機に立ち上げ
- 2自治会、4NPO、2任意団体、区役所で構成
- 住民アンケートを実施し、結果を基に新たな取組（アフタースクール（放課後自習室）の開設など）を実施

○深谷台地域運営協議会の設立（2011年）

- 小学校や自治会、NPOなど団地の周辺地域にもエリアを広げて16団体で構成

【深谷台地域運営協議会の様子】



（出典）：深谷台地域運営協議会エリマニュース第34号